

変わる滋賀 続く幸せ (Evolving SHIGA)

商工観光労働部 所属版SDGs行動計画(アジェンダ2019)

※SDGsとは、持続可能な社会をつくるために、2030年までに発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が達成を目指して取り組むべき17の目標のこと。2015年9月の国連サミットで採択され、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの課題を統合的に解決することが求められている。

	1 貧困をなくそう		5 ジェンダー平等を実現しよう		9 産業と技術革新の基盤をつくろう		13 気候変動に具体的な対策を		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	2 飢餓をゼロに		6 安全な水とトイレを世界中に		10 人や国の不平等をなくそう		14 海の豊かさを守ろう	 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS <small>2030年に向けて 世界の発展と 「持続可能な開発目標」です</small>	
	3 すべての人に健康と福祉を		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		11 住み続けられるまちづくりを		15 陸の豊かさを守ろう		
	4 質の高い教育をみんなに		8 働きがいも経済成長も		12 つくる責任 つかう責任		16 平和と公正をすべての人に		

所属名 計量検定所

① 私たちは、滋賀県基本構想に示す「みんなで目指す2030年の姿」に基づき、次の未来社会像の実現に向けてSDGsの視点で所管業務等に取り組みます！

目指す2030年の姿(未来社会像)

計量思想が社会広範に普及浸透し、「計量・計測」制度が適正に運用されることによって、経済活動の根本原理である等価交換の維持と、社会基盤の制度的安定に寄与しており、ひいては、実生活における公正で公平な商取引の実施、生産活動の効率化や、研究成果等への反映による社会的課題の解決、新技術の開発促進などが進んでいます。

② 具体的には、次のアクションに取り組み、共感の輪を広げていきます！

関連する目標アイコン	具体のアクション（取組）	統合的に課題解決する分野
	<p>【検定、指導取締】</p> <p>計量・検定業務を通じて、適正な計量の普及促進を図り、公平・公正な取引に寄与します。</p>	
	<p>【業務全般】</p> <p>空調利用時の温度設定の適正化、不要な照明の消灯、離席時のPC蓋とじ等の省エネに努めます。</p>	環境保全 省エネ
	<p>【業務全般】</p> <p>公用車での出張の際、余裕をもった出張計画をたて、エコ&安全運転に努めます。</p>	環境保全 省エネ